

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	9	課題区分	C	令和6年(2024年)5月1日	
横断的な課題	2地域を支える産業のグレードアップ					上田地域振興局	
地域重点政策	2地域を支える産業のグレードアップ						
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属		
事業名	ワイン用ぶどう生産支援事業				電話	0268-25-7126	
					E-mail	ueda-nogyo@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	「世界基準を見据えたワイン産地」の早期実現に向け、農業分野から、原料用ぶどうの品質や生産量の更なる向上を図るため、これに寄与できる栽培技術の普及・定着や栽培者間の情報交換を促進する。					
	現状と課題	【現状】 管内のワイン用ぶどう栽培面積(125ha)及びワイナリー(16施設)は順調に増加している。また令和5年度の県里親研修事業を活用する就農希望者11名の内ワインぶどう栽培予定者は2名おり、今後も当管内での栽培の拡大が予想される。 【課題】 栽培者は農業未経験者が多く技術的に不安定で相互に情報共有する場も少ない。また収益性が低く1ha以上の栽培者が多く管理不足が見受けられる。「ワインを基幹産業に」の実現に当たっては栽培者の経営安定かつ醸造先から期待される質と量の向上が重要。 今後は社会全体のテーマ“環境”を意識した栽培方法の導入も必要となっている。					
	内容 (変更後の内容)	1 栽培技術の向上と交流促進 生産者の栽培技術向上や交流の促進を図るため、ワイン用ぶどう栽培者を対象に、生産者技術セミナーを開催する。[1月] 2 スマート農業の普及実証 防除作業の負担軽減等が期待できるドローン等による農薬散布の実演会を実施する。[3月] 3 脱炭素社会に向けた取組を推進 ぶどう剪定枝を炭化し土壌貯留する取組の実演。土づくりや“炭素貯留”によるブランド化の有効性を検討する。[1月～3月]					
	事業期間	令和6年(2024年) 1月 ～ 令和6年(2024年) 3月					
事業費	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額	備考	
	生産者技術セミナー開催		研修会・情報交換会の開催		42,681	報償費:38,000円、旅費:4,681円	
	合 計				42,681		
指標及び達成状況	成果指標				目標値	成果	達成状況
	生産者技術セミナー参加者数(R4:32名)				35名	24名	○ 達成
	アンケート結果における次回参加意向割合(R4:94%)				95%	94%	○ 一部達成
							● 未達成
事業実績・成果	【実績】 生産者技術セミナーは、1月に栽培技術及び経営管理力の向上を図るため、今回は農薬や化学肥料の使用を低減した農法に迫るべく、有機農法(有機栽培)に取り組んでいるワイナリーの栽培責任者から主に防除方法について詳しく研修することができた。ただし、当初計画したスマート農業やゼロカーボン推進に向けた取組は、年度末の多忙期に差し掛かってしまったことと雨天日が多かったことなどにより実施に至らなかった。 【成果】 各作業ステージにおける病害対策は予防防除を、虫害対策は耕種的防除(草刈、粗皮削りなど)を組み合わせ実施して総合的に防除に取り組むことが農薬使用総量を抑え、よりブランド力を高められるワイン醸造につながる習得ができた。環境負荷低減対策技術推進の機運は継続していくよう努めたい。						
今後の方向性	セミナーの開催情報が関係者全員に届いておらず、事前の周知の仕方について今後検討する。室内講義だけでなく、有機栽培に取り組むほ場視察への要望も出た。また、栽培技術だけでなく醸造や現地ほ場視察も組み込んだセミナー開催を望む声も聞かれた。						